

平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み (第6報)

テック フォース
～緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣・活動状況等について～

平成23年9月14日 18:00現在

平成23年台風第12号に伴う大雨(8月30日～9月5日)により、紀伊半島を中心に洪水氾濫、土砂崩れなどが発生し、大きな被害が発生していることから、九州地方整備局では、本日までにTEC-FORCE隊員のべ225名、災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)、衛星通信車、排水ポンプ車等の機材7台を派遣し現地支援を行っています。

また、第7陣として、明日9月15日に被災状況調査等を実施するため、TEC-FORCE隊員11名を被災地に向けて新たに派遣します。

1. 派遣状況

【9月15日の派遣について】

出発時間:平成23年9月15日(水)9時30分

派遣先:近畿地方整備局、和歌山県(予定)

隊員:これまでも各地の被災地に派遣され高いスキルを培っている職員を中心に11名派遣

活動内容:道路の被災状況調査等を実施

～派遣実績～

【人的派遣】 225名【のべ人数(9月14日現在)】

- 9月 8日 15名(河川の被災状況調査等)
- 9月 9日 12名(道路の被災状況調査等)
2名(現地被災状況調査班への調整・指示等)
- 9月11日 3名(道路の被災状況調査等)
- 9月13日 9名(河川の被災状況調査等)
- 9月14日 7名(被災状況調査等)
- 9月15日 11名(道路の被災状況調査等)

凡例	
●	派遣済
□	今回派遣予定

【機材等の派遣】※現在、ヘリコプター以外は、近畿地方に派遣中

- 9月5日 災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)(9月13日帰還)
- 9月9日 排水ポンプ車 1台(150m³/分)
衛星通信車 1台
Ku-SAT 2台
排水ポンプ車 2台(高揚程型30m³/分)

【全国の派遣状況(参考)】

- TEC-FORCE 9月4日～ のべ1,568名(9月13日14時現在)
- リエゾン 9月4日～ のべ236名(9月13日14時現在)
- 災害対策用ヘリコプター 9月4日～ 計6機(9月13日14時現在)

2. 活動状況

■TEC-FORCE

【現地支援班】

近畿地方整備局及び和歌山県庁・奈良県庁において災害現場に派遣されている被災状況調査班に対する調整・指示を行っています。

【被災状況調査班(道路)】

和歌山^{たなべし}県田辺市及び国道168号(三重^{しんぐうし}県新宮市)において、被災状況の現地調査を行っています。

【被災状況調査班(河川)】

三重^{しんぐうし}県新宮市・紀宝^{きほうちょう}町において、熊野^{くまの}川及び支川相野^{おのたに}谷川の被災状況調査及び応急復旧のための支援を行っています。

【情報通信班】

奈良^{のせがわむら}県野迫川村等において衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)等を設置し、被災地域における通信確保を行っています。

■災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)

九州地方整備局の災害対策用ヘリコプター(はるかぜ)は9月4日～13日にかけて、和歌山県等の上空からの被災状況調査を行いました。

3. その他

台風12号被災地関連情報のバナーを設置しました。
これまでの九州地方整備局の記者発表や関連機関へのアクセスが可能ですのでご利用ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 応援対策本部
企画部 企画課長 本田 卓
電 話:092-414-7301(本部直通)
F A X :092-481-9210(本部直通)

《九州地方整備局の支援活動内容》(9月14日現在)

■ TEC-FORCE

【現地支援班】

近畿地方整備局及び和歌山県庁・奈良県庁において災害現場に派遣されている被災状況調査班に対する調整・指示を行っています。

【被災状況調査班（道路）】

和歌山県田辺市及び国道168号（三重県新宮市）において、被災状況の現地調査を行っています。

【被災状況調査班（河川）】

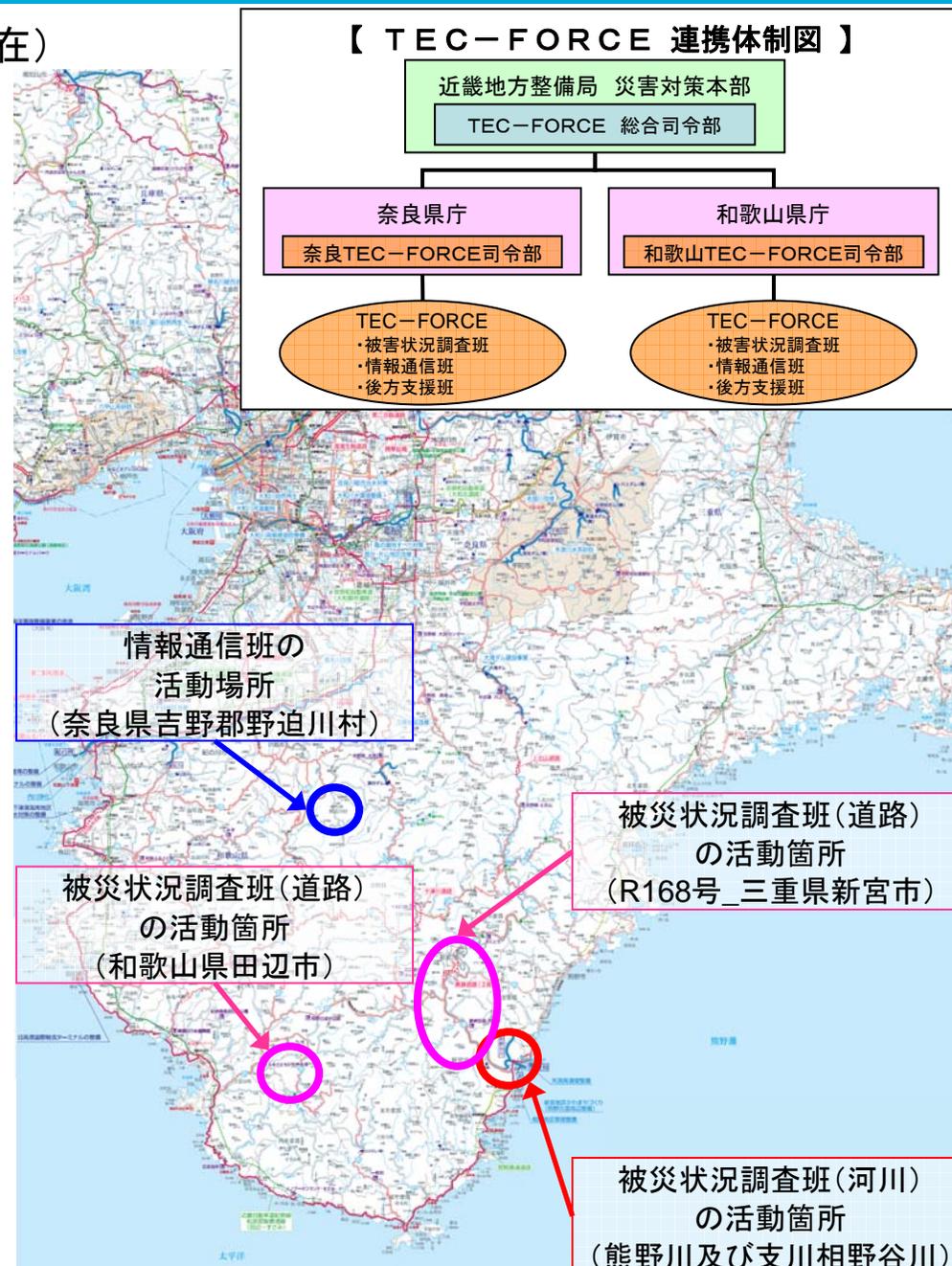
三重県新宮市・紀宝町において、熊野川及び支川相野谷川の被災状況調査及び応急復旧のための支援を行っています。

【情報通信班】

奈良県吉野郡野迫川村等において衛星通信車、Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）等を設置し、土砂崩れによる河道閉塞状況の監視を行っています。

■ 災害対策用ヘリコプター（はるかぜ）

九州地方整備局の災害対策用ヘリコプター（はるかぜ）は9月4～13日にかけて、和歌山県等の上空からの被災状況調査を行いました。



■被災状況調査班の活動状況

被災状況調査班(道路)



あいがこう
和歌山県田辺市愛賀合地区での現地調査状況
(9月12日)

被災状況調査班(河川)



熊野川支川相野谷川での現地調査状況
(9月12日)

被災状況調査班(道路)



まがりかわ
和歌山県田辺市本宮町曲川地先での現地調査状況
(9月10日)

被災状況調査班(道路)



田辺市長との打合せ
(9月12日)

■情報通信班の活動状況

河道閉塞監視のため衛星通信車を設置



きたまた
奈良県吉野郡野迫川村北股地区
(9月14日)

野迫川村役場での画像監視状況



奈良県吉野郡野迫川村役場
(9月14日)

台風12号被災地関連情報のバナーを設置しました！

これまでの九州地方整備局の記者発表や関連機関へのアクセスが可能です。
今後、整備局の活動状況についても充実させていきます。

TOPページ上のバナー
台風12号
被災地関連情報

台風12号被災地関連情報

【関連リンク】

- 近畿地方整備局
- 中部地方整備局
- 国土交通省
- 国土地理院
- 気象庁

国土交通省 九州地方整備局

都市と自然、アジアが身近な21世紀のフロンティア九州

九州地方整備局の紹介 防災情報 九州の将来像 整備局事業の紹介 地づくり・景観づくり 入札・契約 リンク集

トピックス

- 9月12日 【河川ハトローカー(軽自動車タイプ)交換購入】を公示しました。
- 9月1日 九州地方構造計算書後装問題対策連絡協議会における調査状況
- 8月23日 【道路ハトローカー交換購入】を公示しました。
- 8月23日 【草刈機(遠隔操作式)購入】を公示しました。
- 8月16日 【照明車交換購入】を公示しました。
- 8月16日 【路面清掃車交換購入】を公示しました。
- 8月10日 九州ブロック発注者協議会 第7回幹事会の議事概要について

記者発表

- 9月13日 【最新情報】平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み(第5報)【PDF】
- 9月12日 九州地方整備局入札監視委員会の開催について【PDF】
- 9月9日 瀬戸内地域の連携(ワレタス)瀬戸内により 海岸から約400mのゴミを回収！～10万世帯の1日当りゴミ排出量に相当～【PDF】
- 9月7日 福岡県内初の「みなとオアシス」誕生！～みなとオアシスむなかたおあしまの登録～【PDF】
- 9月5日 九州の下水道整備状況について(平成22年度末)【PDF】

九州地方整備局 記者発表資料

月日	内容
9月13日	平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み(第5報)【PDF】
9月12日	九州地方整備局入札監視委員会の開催について【PDF】
9月9日	瀬戸内地域の連携(ワレタス)瀬戸内により 海岸から約400mのゴミを回収！～10万世帯の1日当りゴミ排出量に相当～【PDF】
9月8日	平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み(第4報)【PDF】
9月7日	平成23年台風12号被害に関する九州地方整備局の取り組み(第3報)【PDF】

九州地方整備局 TOPページ

近畿地方整備局のHP

台風12号被災地関連情報

緊急土砂災害情報

- ◎ 位置図-概要
 - 紀伊半島の土砂災害発生状況
 - ※緊急調査箇所 の最新水位は記者発表資料を参照下さい。
- ◎ 緊急調査箇所の雨量情報
 - XJバンドMPレーダ雨量情報ページ
- ◎ 関連報道発表
 - 国土交通省 報道発表資料
 - 2011年9月13日 台風12号の豪雨に伴う河道開塞箇所について
 - 2011年9月13日 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく緊急調査箇所の追加について
 - 2011年9月9日 平成23年台風12号による河道開塞箇所の集水域における雨量観測情報の提供について
 - 2011年9月9日 台風12号に伴う豪雨により発生した河道開塞における投下型水位観測ブイの投下について
 - 2011年9月8日 平成23年台風12号に伴う土砂災害発生後の土砂災害警戒情報の暫定基準の設定について(奈良県)
 - 2011年9月8日 平成23年台風12号に伴う土砂災害発生後の土砂災害警戒情報の暫定基準の設定について(和歌山県)
 - 2011年9月8日 台風12号に伴う豪雨により発生した河道開塞における投下型水位観測ブイの投下について

九州地方整備局TOPページ

【参 考】

緊急災害対策派遣隊（^{テック}TEC-^{フォース}FORCE）とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）とは

リエゾン派遣は、自治体が災害対応に追われ、整備局との間で十分な連絡・連携が出来ない場合、連絡窓口として整備局職員を直接自治体へ派遣し、整備局・自治体相互の情報共有や、TEC-FORCEやヘリコプター・照明車等の災害対策用機械等の自治体への応援派遣に係る調整、災害復旧等の支援に関する自治体からの相談受付・整備局への伝達等を行い、迅速かつ的確な災害対策及び災害支援に資することを目的としています。

※リエゾンとはフランス語で連絡・連携や橋渡し、繋ぐといった意味。